

《Multi masques》

- pour clarinette, tuba, et électronique -

曲目解説

神本 真理

■曲目解説：

“multi”：「多数の」／“masque”：「仮面」という二つの単語から成るタイトルをもつ本作品は、フランスの画家Henri Guérard(1846-1897)が、葛飾北斎の作品から影響を受けて制作した『20のグロテスクな仮面』という作品群のうち一枚に出会ったことから、アイデアを膨らませていった。

私は、Guérardの「似て非なる仮面コレクション」を一つの平面作品として眺めた時に、それぞれの仮面が幾重にも立体的に、あたかも増幅して見えてくるような想像力を掻き立てられた。

クラリネット、チューバ、という異なる楽器同士の組み合わせにおいて、敢えて、2つの楽器が近似値のピッチを纏わりつくような音像を多く用いることにより、似て非なる音同士のせめぎ合いを描こうと考えた。

また、幾つかの特徴的な断片素材を繰り返し、少しずつ変容させていくことに加えて、2つの楽器が各々にエレクトロニクスによるエフェクトによって、オリジナルの音色に多種多様な変換をもたらすことで、増幅された音空間を生み出している。

作品の終盤では、2つの楽器によるアリアの部分となる。どんな音楽においても、「歌」と「律動感」の2つが大きな柱を担っていると考える私にとって、この作品で用いる2つの楽器本来が持つ、〈艶やかな歌〉をお楽しみ頂きたい。(552文字)